

駒場野公園のサクラ再生実行計画 現地調査会

～公園を彩る桜の将来像を考えよう～

開催日時：令和2年(2020年)10月24日(土) 13:30～14:30

主題「桜の現状・課題と将来像」



駒場野公園・調査ポイント

- ①北門ケルネル田んぼ上
・コヒガンザクラ並木の生育不良問題
- ②駒場体育館北側
・雑木林の成長と桜の日照不足問題
- ③テニスコート東側
・広場の活用と桜の根の踏圧問題
- ④南門外の小道
・八重桜(カンザン)並木の維持問題



- ・新型コロナウイルス感染予防のため、マスクを着用してご参加ください。
- ・当日、熱・咳・だるさのある方は出席をお控えください。

お問合せ：目黒区みどり土木政策課 電話 03-5722-9745 受託者：株式会社エコル

駒場野公園のサクラ再生実行計画 現地調査会

～公園を彩る桜の将来像を考えよう～



里山の面影を大切にしながら、自然共生や地域活動の拠点となっている駒場野公園。桜の品種の多さもこの公園の魅力の一つですが、開園から30年を経て環境変化による樹勢の衰えや、倒木等の危機管理が懸案となっています。

駒場野公園の桜について、どのような将来像を目指していくかを皆さんと検討したく、本日代表的な4地点を回る現地調査会を開催します。

①北門ケルネル田んぼ上・コヒガンザクラの生育不良問題



全体的に衰弱

梢～大枝枯れ

幹の枯れ

→ 根に問題を抱えている可能性あり

- ・土壌硬度：部分的に硬いが枯死にいたる程ではない
- ・土壌保水性：土の粒が大きい構成（砂壤土～砂土）で、水抜けがよく保水性がやや劣る

★立地：急傾斜地＋日照&通風が良好＋保水性が低い土壌＝乾燥が進みやすい傾向

★病害虫：伐採木切り株＋生木腐朽力と感染力の強い菌（コフキタケ）発生中
＝新たな苗木にも病気の伝搬が起きやすい環境

∴植替え前に、病原菌を抱えた旧根株の撤去と広範囲の土壌改良（保水力改善）が必要

②駒場体育館北側・雑木林の成長と桜の日照不足問題



樹林の経年変化

周囲の高木の成長・樹冠拡大

日照不足

サクラ類の極端な樹勢不良

→ 生存競争に負け、衰弱・枯死が進行

- ★立地：斜面地・窪地＋日照&通風不良＋多種多様な雑木林
- ★周辺環境：南側に建物＋北側に大池の「生き物ゾーン」
＝大規模な間伐をしても桜の生育改善の利点は少ない

∴風景全体の10年後の変化を想像し、桜を補植すべき空間かどうか再考が必要

③テニスコート東側・広場の活用と桜の根の踏圧問題



日常的な人の往来 地表面の裸地化

根の露出

枝先の葉が少なく衰弱傾向

踏みつけによる根の健康不良の可能大

- ・土壌硬度：表層 10cm は根の生育がまったく困難な硬さ、深層も根が健全に育つ軟らかさではない。
- ・土壌保水性：表層は固結して乾燥、腐植も乏しい

- ★立地：台地の縁+盛土+日照&通風良好+締め固まった表層=根系の水分と酸素不足
- ★病虫害：踏圧による根の傷+周辺に感染力の強い菌類発生
=防御力が低下すると根株や幹・枝の腐朽が進み倒木や落枝事故に直結

∴樹勢回復・保護育成に、根系の広がる範囲の土壌改良（膨潤化）と踏圧防止策が必要

④南門外の小道・八重桜（カンザン）並木の維持問題



建物に挟まれた参道型

人の往来が頻繁

台風や積雪時に大枝折れや倒木発生

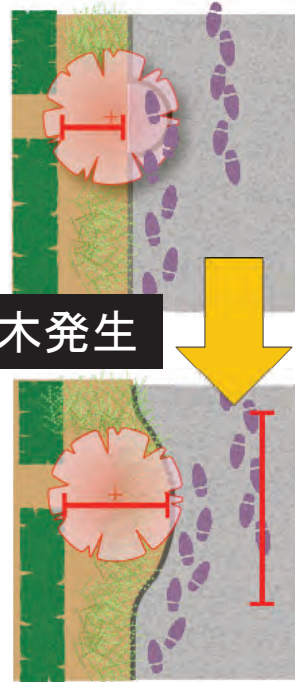
★植栽状況：

①通路際の配置

=根系への踏込みの悪影響あり

②直線的な動線+上方に立ち上がる樹冠

=南北に吹き抜ける風の影響大



∴植栽帯を広げ根元を保護し、樹高を抑える剪定管理&適性樹形の品種へ切り替えも検討

おまけ：公園拡張部のコヒガンザクラ生育不良問題

こちらの桜の問題は①と③の複合タイプ。
土壌は固く締め固まっているため植付後の根の生育が困難です。日当たりなのに、根が十分な水分を吸い上げられないので枝葉がどんどん枯れ込んでいる状態です。



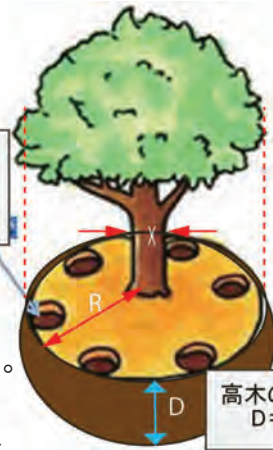
駒場野公園・桜守活動の提案

① 土壌改良の範囲って？

樹が将来どれだけ大きくなるか理解し、その地上部を支えるための地下の根系がしっかり育つよう、土壌の柔らかさや養分、水抜けや水持ちを改善するのが土壌改良です。

おおよそ成木の樹冠の枝先までは根が広がっていると考えてください。大枝が折れた木や苗木の場合は幹直径の12倍、深さ最低60cmと考え、その範囲の土の硬さや水分条件を改善するようお勧めします。

高木の根の広がる範囲
樹冠投影線 または
 $R = \text{幹の直径} \times \text{cm} \times \text{約} 12 \text{倍}$



高木の根の育つ深さ
 $D = 60\text{cm}$ 以上必要

② 新しい桜を植える時に注意する事って？

電線や照明灯、建物脇や通路際に植えると将来大きくなった時に、枝がぶつかって邪魔モノ扱いされます。

南に大きな木や建物がある場所も日陰になるので避けます。

また苗木の幹と根の繋がる「きわ」を地面の高さに合わせて植えてください。「深植え」すると根っこが窒息して病気になります。



③ 次世代の苗木の育成にチャレンジ！

ソメイヨシノなど品種物の桜は一般的に採取した若枝を台木につける「接ぎ木苗」で増やします。ヤマザクラ、オオシマザクラなど元々山野に自生する桜は種子を撒いて実生木を育てることも可能です。



④ 桜の観察って？

落葉の時期・紅葉の様子、一か所につく花芽の数、新しい枝の伸び具合など、桜の変化をよく見て記録を続けることで早めに異変に気付くことができます。「見守り続ける」ことこそが保護育成の礎です。

駒場野公園・桜の維持管理上、注意が必要な病害虫

クビアカツヤカミキリ

埼玉県環境科学国際センター「サクラの外来害虫 “クビアカツヤカミキリ” 被害防止の手引き」より



バッコウタケ



桜の天狗巣病



コフキタケ



桜の増生病 (枝コブ病)

